

ニュースリリース

林業関連先進企業が世界初のセクタープロジェクトを立ち上げ Capitals Coalition および TNFD と共に自然資本会計をパイロットテスト

エディンバラ、イギリス、2025 年 7 月 14 日

COP30 に向け、21 か国で 2,400 万ヘクタール超の森林を所有・管理する、18 の林業関連先進企業が、International Sustainable Forestry Coalition (ISFC: 持続可能な林業のための国際連合) 主導の世界初のプロジェクトを発表しましたのでお知らせします。

後述する参加企業は、管理(スチュワードシップ)している森林資産が「自然資本」とであるという認識を共有しています。新たに出現しつつある自然資本会計(NCA: Natural Capital Accounting)の原則と報告フォーマットの適用を目指しパイロットテストを実施することで合意しました。所有・管理する広大な自然資産の自然資本会計に取り組むにあたっては、一貫した基準体系を利用します。これらの「資産」は「自然資本」と呼ばれており、ビジネスや社会に必要な不可欠な「生態系サービス」を提供しています。

参加企業および組織は下記の通り(アルファベット順):

1. Aurora Sustainable Lands
2. Arauco
3. CapMan
4. Climate Asset Management
5. France Valley
6. Forestry England
7. Forest Investment Associates
8. Green Diamond
9. Gresham House
10. Mercer International
11. Mitsui & Co.(三井物産)

Contact: Ross Hampton

International Sustainable Forestry Coalition

London, United Kingdom

T +44 79393 32405 E rhampton@is-fc.com

www.is-fc.com



12. New Forests
13. Nippon Paper Industries (日本製紙)
14. Oji Holdings (王子ホールディングス)
15. PotlatchDeltic
16. Rayonier
17. Stora Enso
18. Sumitomo Forestry(住友林業)

ISFC 議長 David Brand 博士コメント

「世界は、気候変動と自然の両方に対してポジティブな影響をもたらす投資を増やし始めるべきです。しかし、必要な投資にみあう規模の資金を引き付けるためには、経済的にも道理に叶ったものでなければなりません。世界の林業セクターは、持続可能で再生可能な原料を提供できるだけでなく、気候変動と自然に対してポジティブな結果をもたらすことができます。ここで重要となるのは、これらの企業が管理する広大な自然資本価値を理解し、その評価手法を標準化することです。」

Capitals Coalition 最高経営責任者(CEO) Mark Gough 氏コメント

「林業セクターが自然および気候目標に対して果たすことができる貢献は、これまでしばしば過小評価されてきました。ISFC は、この困難な課題に対処するため Capitals Coalition および TNFD と協力し、彼らの所有する広大な土地に内在する自然資本の測定および報告に取り組みます。」

本プロジェクト管理者 Value Australia 最高価値責任者(CVO) Rayne van den Berg 氏コメント

「多くの企業やリーダーたちは、より良い情報を提供し、より情報に基づいた意思決定を行うことを目的として、自然資本を定量化し評価するフレームワークや方法論の開発に長年取り組んできました。このプロジェクトは社会を変える「ゲームチェンジャー」となるでしょう。なぜなら、世界で初めて主要な林業関連企業が協力して、森林とともに彼らが管理している生態系サービスを理解するために取り組むからです。」

TNFD 最高経営責任者(CEO) Tony Goldner 氏コメント

「TNFD は、自然資本会計の適用に向けたこの世界的な取り組みを支援できることを嬉しく思います。TNFD のオープンイノベーションおよびパイロットテストによる実践的な取り組みの拡大と足並みを揃え、ISFC は、利益とのバランスを取りながら自然と気候変動のために協力する準備が出来ている、林業セクターの幅広いプレイヤーを



集めることに成功しました。TNFD のフレームワークと、世界中の企業が採用している LEAP プロセスは、本プロジェクトの枠組みを提供します。パズルの欠けているピースは、生態系サービスの評価です。これは、自然破壊から自然を強化する投資フローへの世界的な転換に必要不可欠です。TNFD は、このプロジェクトから得られる知見ガイダンスに役立て、TNFD の自然関連評価と自然資本会計の評価および提示との関連性を実証し、企業報告を支援していきます。」

本プロジェクトは 2025 年 7 月 31 日まで参加企業の追加を検討しています。

ISFC について:

ISFC は現在 20 の主要な林業関連企業が加入しており、所有・管理する森林の総面積は 6 大陸 37 か国で計 20 百万ヘクタール以上におよびます。ISFC はビジョンを共有し、要件を満たす企業および組織からの加入申請を受け付けています。詳細 <https://is-fc.com/>

Capitals Coalition について:

Capitals Coalition は、自然資本、社会資本、人的資本の測定と評価に係るイニシアチブの国際的な協力体であり、この分野に対する最高水準の技術的専門知識と、深い洞察を提供しています。詳細 <https://capitalscoalition.org/>

TNFD について:

[自然関連財務情報開示タスクフォース](#) (TNFD) は、世界中のビジネスおよび金融のリーダー 40 名で構成され、G20 の支援を受けて 2021 年に発足しました。TNFD は、気候変動リスクに加えて自然をどのように評価、管理、報告すべきかについて、市場参加者やその他のステークホルダーに推奨事項とガイダンスを提供しています。TNFD は、2023 年 9 月に公表された TNFD 勧告に沿って自然関連の問題を報告することを約束した 500 以上の組織と 17 兆米ドルを超える運用資産 (AUM) を含む、世界的な支援と行動のムーブメントを構築しました。TNFD 勧告は、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の以前のアプローチと推奨事項に基づいており、GRI の影響基準、欧州連合の企業サステナビリティ報告指令 (CSRD)、および国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) のサステナビリティ報告基準に準拠しています。詳細 <https://tnfd.global/>

以上